

注目される東京同窓会

能代高校東京同窓会長 太田 勝治



昨年の総会において会長に選出された 29 期生の太田勝治です。少しでも会のためにという意気込みはありますが、逆に重責を感じています。この同窓会を維持し更に発展させるのは会長ではありません。大勢の会員と役員の方々の皆さんとの緊密な協力が 1 番大切です。どうぞ宜しくお願い致します。

●総会を盛り上げよう

同窓会の 1 番のイベントは総会、懇親会です。総会参加者は昨年は 100 名前後でした。同窓会活動の成功は総会、懇親会を盛り上げることも一つです。

今年は少しでも多くの参加者が増えるよう、各委員会それぞれが活動して来ました。総会の内容なども若手が中心になって工夫を凝らしています。一度参加したら、来年も是非参加したい、という内容です。その成果が出来るとうれしいです。

●自制心を高めよう

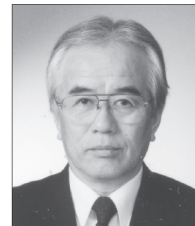
諸先輩方の努力のおかげで、最近、女性を含めた若手の会員が結構増えました。本当にうれしいことです。女性、若手、中堅、ベテランとバランスのとれた会員が多いほど、会の発展の力となります。

これは他校でのことですが、女性に対してのセクハラや後輩のいじめ等が大きな問題になりました。懇親会の席等で、女性会員にお酌を強要したり、むやみに体に触れたりすることは今では「セクハラ」ということで厳しくチェックされています。また、後輩に対してのちょっとした心無い言葉がいじめとして誤解されてしまうこともあります。かつてのバンカラな考えは通用しなくなりました。せっかく参加してくれた同窓生をセクハラやいじめで、退会させたり、悪い噂が出ることは 1 番注意しなければなりません。後輩や女性を差別せず、一人の人格者として尊敬しましょう。

最近、当同窓会のブログやホームページ等を通じて東京同窓会は他校同窓会や郷里等から大変注目されています。ちょっとした不注意でも悪いことはすぐ知れ渡ります。お互いに十分な自制心を持って和気あいあいとした会を維持していきたいと思ひます。

将来構想

能代高等学校長 井上 高廣



東京同窓会の皆様には常日頃より多くのご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

能代高校は、4 月の始業式に始まり、5～6 月には県北・全県総体、第 1 回考査、学校祭・校内体育大会と行事が続きました。その間も生徒は進路目標に向かって朝学習や土曜補習、模擬試験などに取り組み、8 月現在は、夏休みを迎え連日補習授業を頑張っております。

今年の運動部は東北大会まで沢山の駒を進めたのですが、インターハイ出場は体操部(団体、個人)、柔道部(女子 1 人)と少々寂しい状況でした。しかし、文化部の活躍は華々しく、無線部、放送部、囲碁・将棋部、弁論部が全国大会に出場します。

硬式野球部は春の県北大会は圧倒的な強さで優勝し、全県選抜では準優勝を果たし東北大会に出場しました。本校はこれまで 14 年周期で甲子園に出場しているようで、前回出場の平成 4 年から 14 年目の今年、期待したのですが甲子園予選は 3 回戦で敗れてしまいました。軟式野球部も県大会準優勝で北東北大会出場を果たし、1 回戦青森第 1 代表を 13 対 0 で圧勝しながら 2 回戦で負けてしまい、全国大会出場を逃しました。

校是であるところの「文武両道」を果たすべく進学の実績も伸びております。平成 18 年 3 月に理数科の一期生が卒業し、この生徒達の活躍を中心に学年が一体となった成果で、5 年ぶりに国公立 107 名と 100 名の大台を超え、進学率(短大以上)も 73.3%となっております。

現在、旧能代市内に 5 つの高等学校があり、能代高校だけは単独で残るのですが、能代北高と能代商業、能代工業と能代西がそれぞれ統合し 3 校となります。このように学校の置かれている状況が大きく変わろうとしている時、本校がより存在感のある学校になるため、将来構想を検討しております。地域や日本の発展のため、有為な人材を沢山社会に送り出せる学校を目指したいと思ひます。将来どの様な生き方をしたいのか、そのためには高校生活をどの様に過ごさなければいけないかを考えさせ、しっかりした目標を持たせて自ら自発的に勉強や部活動に励ませたいと考えています。校内だけではなく校外の多くの方達にもご協力を得たいと思ひますのでその節は宜しくお願いいたします。

東京同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を衷心より祈念申し上げます。